

2019年11月20日
日本生命保険相互会社

ニッセイ インターネットアンケート 勤労感謝の日 ～仕事環境について～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、仕事環境に関するアンケート調査を実施いたしました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2019年10月1日(火)～10月22日(火)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：10,674名(男性:5,632名、女性:5,042名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	367	747	1,355	1,691	977	495	5,632
女性	400	736	1,164	1,438	887	417	5,042
合計	767	1,483	2,519	3,129	1,864	912	10,674
占率	7.2%	13.9%	23.6%	29.3%	17.5%	8.5%	100.0%

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～3

【職場について】

- 職場で上司に求めるものは、「公平な評価」と回答した方が、全体の25.4%となり、最も多かった。**
- 職場で部下に求めるものは、「素直さ」と回答した方が、全体の27.5%となり、最も多かった。**
- 昨年と比較して、**時間外労働が「減った」と回答した方は、全体の約2割となり、約6割が「変わらない」と回答した。**

ポイント②

質問 4～9

【副業について】

- 約9割の方が、「副業をしたことがない」と回答した。**
- 業種別で見ると、「**現在副業をしている**」と回答した方の割合が最も多かったのは「**農業・林業・漁業**」で、23.3%であった。
- 副業の種類として、「**ネット販売**」を行っている方の割合が最も多かった。
- 副業での年間収入額は、平均「135.3万円」となった。**

ポイント③

質問 10～12

【飲みニケーションについて】

- 職場で飲みニケーションが「**必要**」と回答した方は、全体の57.3%となり、**半数以上が「必要」と回答した。**
- 飲みニケーションが「**必要**」と回答した理由として、「**本音を聞ける・距離を縮められる**」と回答した方が、全体の66.7%となり最も多かった。
- 飲みニケーションが「**不要**」と回答した理由として、「**仕事の延長と感じる**」と回答した方が、全体の40.3%となり最も多かった。

質問1 職場で上司に求めるものは何ですか？（回答者数：4,602名）

○職場で上司に求めるものは、「公平な評価」と回答した方が、全体の25.4%となり、最も多かった。

■職場で上司に求めるもの（男女別）

(%)

順位	内容	全体	
		男性	女性
1位	公平な評価	25.4	24.2
2位	リーダーシップ	12.4	8.4
3位	指示がわかりやすい	9.5	11.2
4位	決断力がある	8.2	6.3
4位	知識・経験が豊富	8.2	10.3
5位	考え方や意見に一貫性がある	8.1	8.4

男女ともに「公平な評価」と回答した方が最も多かった

■職場で上司に求めるもの（年代別）

(%)

	～20代	30代	40代	50代	60代～
公平な評価	24.8	22.8	26.5	26.5	23.2
リーダーシップ	8.0	10.1	12.8	14.1	16.0
指示がわかりやすい	11.0	12.0	8.4	8.8	8.5
決断力がある	5.6	7.0	7.5	10.1	9.9
知識・経験が豊富	9.9	8.7	7.2	8.4	7.5
考え方や意見に一貫性がある	7.3	8.6	8.4	7.5	10.2

全年代で「公平な評価」と回答した方が最も多かった

質問2 職場で部下に求めるものは何ですか？（回答者数：3,822名）

○職場で部下に求めるものは、「素直さ」と回答した方が、全体の27.5%となり、最も多かった。
○男女別に見ると、男性では「報告・連絡・相談ができる」と回答した方が最も多く、女性では、「素直さ」が最も多かった。

■職場で部下に求めるもの（男女別）

(%)

順位	内容	全体	
		男性	女性
1位	素直さ	27.5	34.1
2位	報告・連絡・相談ができる	25.7	26.3
3位	積極性	13.7	8.6
4位	向上心が強い	9.4	7.4
5位	処理能力が早い	8.7	8.8

「素直さ」と回答した方が最も多かった

質問3 昨年と比較して、時間外労働は減りましたか？（回答者数：4,620名）

○昨年と比較して、時間外労働が「減った」と回答した方は、全体の約2割となり、約6割が「変わらない」と回答した。

■時間外労働は減ったか（男女別）

(%)

	全体		
		男性	女性
増えた	19.9	18.3	23.2
減った	20.5	21.5	18.1
変わらない	59.7	60.1	58.7

約6割の方が「変わらない」と回答した

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>



「働き方改革」が注目されるようになって久しいものの、実際に時間外労働が減ったとする回答は2割程度に留まり、約6割と半数以上の方では実感できるほどの変化はみられないようです。

長時間労働の是正には業務量の調整も必要になるものの、恒常的な人手不足もあり、企業における取組みが遅々として進んでいないことが背景にあるものと思われます。

質問4 会社で副業は認められていますか？（回答者数：4,250名）

○会社で副業を認められている方の割合は15.0%となり、半数以上の方は「禁止されている」と回答した。

■副業は認められているか（業種別）

(%)

	認められている	禁止されている	分からない
全体	15.0	54.6	30.4
農業・林業・漁業	22.6	48.4	29.0
建設業	12.9	49.4	37.7
製造業	12.3	59.2	28.5
電気・ガス・熱供給・水道業	13.6	54.5	31.8
情報通信業	17.5	51.4	31.1
運輸業・郵便業	6.3	67.3	26.4
卸売業・小売業	20.5	48.7	30.8
金融業・保険業	13.5	66.2	20.3
不動産業	27.6	46.1	26.3
教育・医療・福祉	16.2	50.2	33.5
サービス業	19.3	47.8	32.9
公務	15.2	66.7	18.2

質問5 【働いている方への質問】

副業をしていますか？（回答者数：4,129名）

○約9割の方が、「副業をしたことがない」と回答した。
○業種別で見ると、「現在副業をしている」と回答した方の割合が最も多かったのは「農業・林業・漁業」で、23.3%であった。

■副業をしているか（業種別）

(%)

	現在している	かつてしていた	興味はあるがしていない	興味がない
全体	5.2	4.4	40.9	49.6
農業・林業・漁業	23.3	6.7	33.3	36.7
建設業	4.6	4.6	36.8	54.1
製造業	4.4	3.5	41.8	50.3
電気・ガス・熱供給・水道業	4.8	1.2	34.5	59.5
情報通信業	5.2	1.7	43.1	50.0
運輸業・郵便業	2.9	3.3	39.3	54.5
卸売業・小売業	5.2	5.2	40.4	49.1
金融業・保険業	3.0	5.9	44.2	46.9
不動産業	11.8	3.9	42.1	42.1
教育・医療・福祉	9.0	7.0	40.9	43.1
サービス業	5.1	4.3	42.3	48.3
公務	6.9	6.9	41.4	44.8
その他	3.6	5.9	34.4	56.1

農業・林業・漁業の業種の方が、最も副業をしている割合が高かった

質問6 【副業を現在している方への質問】

副業する理由は何ですか？（回答者数：211名）

質問7 【副業をしていない方への質問】

副業しない理由は何ですか？（回答者数：1,869名）

○副業する理由として、「経済的に余裕を持つため」と回答した方が46.2%となり、最も多かった。
○副業しない理由として、「時間がない」と回答した方が41.0%となり、最も多かった。

■副業する理由 ※複数回答可

(%)

順位	内容	全体
1位	経済的に余裕を持つため	46.2
2位	自分の得意なスキルをいかすため	10.4
3位	空いている時間の有効活用のため	9.4

「経済的に余裕を持つため」と回答した方が最も多かった

■副業しない理由 ※複数回答可

(%)

順位	内容	全体
1位	時間がない	41.0
2位	会社で認められていない	33.7
3位	何をしたいかわからない	11.8

「時間がない」と回答した方が最も多かった

質問 8 【副業を現在している方への質問】

何の副業をしていますか？（回答者数：241名）

○副業の種類として、「ネット販売」を行っている方の割合が最も多かった。

■何の副業か ※複数回答可

順位	内容	全体 (%)
1位	ネット販売	29.5
2位	アンケートモニター	13.3
3位	農業	12.0
4位	WEBサイト運営	9.5
4位	講演・セミナーの講師	9.5
5位	ライター	8.3

「ネット販売」と回答した方が
最も多かった

質問 9 【副業を現在している方への質問】

副業での年間平均収入額はいくらですか？（回答者数：241名）

○副業での年間平均収入額は、「135.3万円」となった。

■副業での年収（男女別）

(万円)		
全体平均	男性	女性
135.3	150.5	120.0

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>

副業を認める会社がでてきている一方で、副業経験は1割に満たない結果となりました。農林漁業で実施率が高いのは、農閑期がある等、他の業種に比べ季節性が高いことによるものと思われます。

また、副業する理由では「経済的に余裕を持つため」とする回答が最も多いものの5割に満たない一方で、「自分の得意なスキルをいかすため」や「空いている時間の有効活用のため」が1割前後で続いています。副業が注目される背景には、いわゆるプロボノ^(※)として、また、スキマ時間を活用する術として等、経済以外の要因があるといえそうです。

※社会人が自らの専門知識や技能をいかして参加する社会貢献活動

質問 10 職場での“飲みニケーション(※)”は必要だと思いますか？ (回答者数：4,644名)

※ お酒を飲みながら語り合い、親交を深めること

- 職場で飲みニケーションが「必要」と回答した方は、全体の 57.3%となり、女性に比べて男性の方が、「必要」と回答した方の割合が、約 10.1 ポイント高かった。
- 全年代で半数以上が「必要」と回答した。

■飲みニケーションは必要か（男女別）

(%)

	全体		
		男性	女性
必要	57.3	60.5	50.4
不要	42.7	39.5	49.6

男女共に半数以上が「必要」と回答

■飲みニケーションは必要か（年代別）

(%)

	～20代	30代	40代	50代	60代～
必要	53.7	58.8	55.6	57.1	66.5
不要	46.3	41.2	44.4	42.9	33.5

全年代で半数以上が「必要」と回答

質問 11 【職場での“飲みニケーション”が「必要」と回答した方への質問】

その理由は何ですか？ (回答者数：2,618名) ※複数回答可

- 飲みニケーションが「必要」と回答した理由として、「本音を聞ける・距離を縮められる」と回答した方が最も多かった。
- 年代別で見ると、年代が下がるほど「仕事の悩みを相談できる」と回答した方が多かった。

■必要だと思う理由（男女別）

(%)

順位	内容	全体		
			男性	女性
1位	本音を聞ける・距離を縮められる	66.7	66.4	67.6
2位	仕事の悩みを相談できる	29.7	29.7	29.5
3位	情報収集を行える	27.4	27.8	26.3
4位	ストレス発散になる	22.8	23.7	20.5
5位	人脈を広げられる	21.5	22.2	19.5

飲みニケーションが必要な理由として、「本音を聞ける・距離を縮められる」が 1 位だった

■必要だと思う理由（年代別）

(%)

内容	～20代	30代	40代	50代	60代～
本音を聞ける・距離を縮められる	56.8	65.3	67.3	71.0	62.1
仕事の悩みを相談できる	40.7	35.7	31.8	23.4	21.8
情報収集を行える	30.7	28.0	25.7	28.3	25.7
ストレス発散になる	22.4	23.2	24.2	21.2	23.8
人脈を広げられる	29.0	27.8	19.2	19.0	17.5

年代が下がるほど「仕事の悩みを相談できる」と回答した方の割合が多かった

質問 12 【職場での“飲みニケーション”が「不要」と回答した方への質問】

その理由は何ですか？（回答者数：1,909名）※複数回答可

- 職場での飲みニケーションが「不要」と回答した理由として、「仕事の延長と感じる」と回答した方が全体の40.3%となり、最も多かった。
- 男女別で見ると、女性は「気を遣う」と回答した方が43.2%と最も多かった。
- 年代別で見ると、年代が下がるほど「お金がもったいない」と回答した方が多かった。

■「不要」と回答した理由（男女別）

(%)

順位	内容	全体		
			男性	女性
1位	仕事の延長と感じる	41.3	40.9	41.9
2位	気を遣う	39.3	37.0	43.2
3位	お酒が好きではない	29.2	28.0	31.3
4位	お金がもったいない	28.4	27.4	30.3
5位	拘束時間が長い	25.5	24.6	27.0

男性は「仕事の延長と感じる」が1位となり、
女性は「気を遣う」が1位となった

■「不要」と回答した理由（年代別）

(%)

内容	～20代	30代	40代	50代	60代～
仕事の延長と感じる	38.2	41.6	42.4	41.7	37.4
気を遣う	48.5	40.2	42.9	33.6	33.3
お酒が好きではない	31.4	31.6	30.8	26.4	26.3
お金がもったいない	42.2	35.3	30.6	20.8	13.1
拘束時間が長い	29.4	32.2	26.5	21.7	12.1

20代以下の特徴として「気を遣う」
「お金がもったいない」と回答した方が多かった

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>

“飲みニケーション”については、男女とも概ね半数程度が必要であるとしているものの、男女間では10ポイントの差がつく結果となっています。必要だと思う理由には男女差がみられない一方で、不要だと思う理由では女性や若年層で「気を遣う」とする回答が多く、若年層では「お金がもったいない」とする回答も高くなっていました。

女性や若年層が不要だとする理由の背景には、そもそも職場内の人間関係やコミュニケーションのとり方に問題があるのではないのでしょうか。職場内でコミュニケーションをとりやすい環境の整備を心がけることで、ひいては“飲みニケーション”の必要性認識にもつながるものと思われます。

以 上